

団体名・グループ名

千曲市立 あんず保育園「ホタルにあいたい！」

審査委員の評価のポイント

保育園の小川を「ほたるがわ」と名付け、年中組を中心に全園児でゴミ拾いや草取りなどを実施。地元の方が飼育していた幼虫を子ども達と一緒に放流し、ホタルが飛ぶのを生まれて初めて見て感動。その後、カワニナ飼育、ホタルのDVD観賞、幼虫の飼育にも挑戦している。審査対象外だが、環境教育の原点は幼児からで、将来のホタルンジャーになることを願い、保育士の先生方と園児の健闘努力を称えることとした。

活動の場所 あんず保育園 保育園敷地内のビオトープ（ほたるがわ） 保育園内の水槽2つ	活動したこどもの人数 73人 活動したこどもの学年 主に活動した子ども・・・年中児23名
活動継続年数 1 年	主な受賞歴 なし

活動グループ（学校・団体）の紹介、活動頻度

あんず保育園は千曲市立12園の中で小規模な園ではあるが日本一の杏の里として有名な地域の中にあります。春になるとあたり一面ピンク色に染まり、またあんず保育園の裏の園庭から眺める白いアルプスは大変美しく子どもたちの自慢です。あんず保育園のあるこの地域では30年前、自然豊かで湧き水の小川や小さな池が点在していて、たくさんホタルが飛び交い多くの村人の心を癒し、子ども達の「ほーほーほーたるこい」の歌声と共にホタルを追いかけて遊んだなつかしい故郷でもありました。しかし、小さな小川はコンクリートで囲まれ、新たらしい団地の出現や農業による農業で、ホタルはいつの間にか見られなくなってしまいました。大人達からホタルがたくさん飛んでいたという話を聞いて、H19年度から保育園の川をビオトープとして整備し活動してきたこともあり、「この川でホタルにあいたい」と願い、あんず保育園のH20年度の環境教育年間計画に入れて地元の「杏の里ホタルの会」にご協力いただきながら、年中組さんを中心に全園児で取り組んできました。

活動の概要（活動の経緯も含めてご記入下さい）

H20年度環境教育の一環として計画を立てて「ホタルにあいたい」をテーマにした活動を通して、次のような子どもを育てていきたいと考えた。

- ・自分達できれいにした川でホタルに会い、感動する子ども。
- ・ホタルはどんなところが住みやすいかを知り、自分たちでできることを考える子ども。
- ・ホタルの飼育を通して、小さな命の大切さに気づく子ども。

平成19年度ビオトープとして小さな水辺の生き物たちと遊んできた川を「ほたるがわ」と名付けてゴミを拾ったり、草取りをしたり、「ホタルの住める川にしよう」ときれいにしてきた。地元の「杏の里ホタルの会」の方がその「ほたるがわ」を見て「ホタルが住むのにとってもいい環境だ」と言い、飼育していた幼虫を10匹ほど分けて頂き、4月に子ども達と一緒に放流した。大切に見守り、6月に8匹ホタルが飛ぶのを生まれて初めて見て感動した子どもたちは、カワニナを探して保育園の水槽で飼育したり、ホタルのDVDを見て勉強し、ホタルの幼虫の飼育にも挑戦している。また、子どもたちの活動をホームページや園の掲示板で知らせ、多くの方の関心を高めてきた。年長さんになった夏には保育園の「ほたるがわ」で沢山ホタルが飛ぶを見たいと願い現在も活動を進めている。

ホタルに会いたい！



千曲市立あんず保育園

団体名・グループ名

千曲市立あんず保育園

活動の場所（様子や環境など）

あんず保育園の周辺の小川

あんず保育園の敷地内にあるビオトープ

あんず保育園内の2つの水槽

タイトル

「ホタルにあいたい！」

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

園長が30年前新任で勤務した頃のあんず保育園にはたくさんのホタルが当たり前のように飛び交い、とてもきれいだった話を子どもたちにすると「ホタルって何？」「見たことないから知らない。」という反応が返ってきました。「小さな光る虫だよ。」と話すと子どもたちは「ぼくもホタルを見てみたい。」「ホタルにあいたい。」と思うようになりました。

保育園の敷地内を流れる小川にはカワニナ・おたまじゃくし・カエル・ざりがに・ヤゴ・ヨツメトビケラが生息していて、子どもたちはそれらの生き物たちと関わって遊んでいました。しかし、ホタルの幼虫の姿はどこにも発見することが出来ませんでした。

そこで「ホタルが住める川にしよう。」と子どもたちが草取りやゴミ拾いをしてきれいな川にしたことをホームページで紹介すると「杏の里ホタルの会」の方が保育園の「ほたるがわ」を見に来て「ホタルが住むのにとってもいい環境だ。」と言って、飼育していたホタルの幼虫を10匹程分けて下さり、子どもたちと一緒に放流しました。

子どもたちはホタルのことをまったく知らなかったのでホタルの幼虫を見てびっくり。「だんごむしの親分みたい。」「えー？本当にこの虫がホタルになるの？」と半信半疑でした。職員も同様に子どもたちとホタルのDVDを見たり、絵本や飼育図鑑を図書館から借りて勉強し合いました。

ホタルの幼虫に出会い、心から「ホタルにあいたい。」と思うようになった子どもたちです。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト1.



ホタルに会おう！

No 1

保育園の小川は、水質も良く、カワニナもたくさんいて、ホタルの成育にぴったりであることがわかりました。そこで、子ども達のお父さんお母さんが子どもの頃にたくさん飛んでいたホタルに、この小川で会いたいと思い、子ども達ときれいにしてホタルの住める川作りを始めました。

ホタルがわにしよう！



ふきだよ！
おかあさん喜ぶかな？



つくしもあるよ！おみやげにしたいね。



ホタルの住める川にしようね！
先生達と年中さくら組さんで草とり、ごみの片付けをしました。



草取り、お掃除たのしいよ！

川の中に何かいるよ！
カワニナだ！
カワニナはホタルのえさになるんだよ！



発見！



見て見て！
かえる、みみず、やご
だんごむし！
みんなで見合って大喜び。

ホタルの幼虫がいた？

ホタルの幼虫だと信じて大喜びした先生達、
実はヨツメトビケラの幼虫の巣と知ってが
っかり！でも水がきれいな証拠なので気を
持ち直してこれからのホタル川に期待！



ホタルがわ、これからが楽しみ！



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト2.



ホタルの幼虫が来たよ！

No 2

ホタルの会の方からホタルの幼虫をいただきました。さっそくホタル川に放流しました。
10日ほどでさなぎになるとのこと、「きっとホタルになるよね！」と楽しみにしています。



ホタルの幼虫
ってだんご虫
のようだね！



これがホタル
になるの？



ホタルの会のおじさん ありがとう！



さ～逃が
すよ！
きっとホ
タルにな
れよ！



無事育ってほ
しいね。

ホタルになる日が待ち遠しいね！



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト3.

ホタルに会いたいな！

No 3



来年に向けてホタルの幼虫の餌になるカワニナを 飼い始めました。

ホタルのこと勉強したよ！



ホタルって大きく なるのが大変！



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト4.

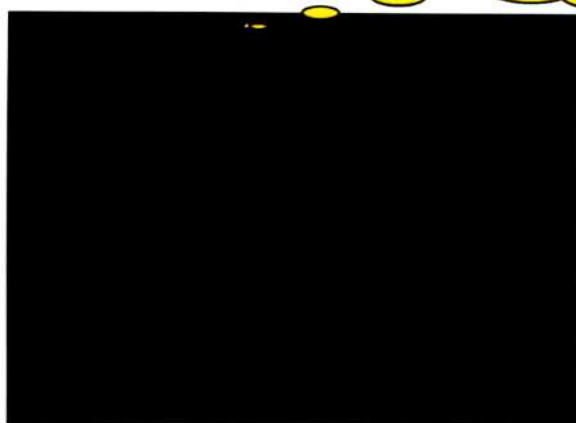


ホタルがとんだよ！

NO 4

6月9日（日曜日）夜8時、ほたる川からホタルが飛び立ちました。裏庭、畑、田んぼを神秘的な光を放ちながら舞うように飛ぶ様子に感動で胸が一杯でした。

ホタルかな？



そこにいるんだけど～
わかるかな？

写真に写すのは難しいので、ぜひ見に来てください。



ホタルに会おう！

見学会をします

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト5.

ホタルに会えたね！

NO5

6月8日（日）から毎晩、保育園の「ほたるがわ」にホタルが飛びました。ホタルの幼虫が十数匹だったので、飛び立ったホタルは少しでしたが、幻想的は光で、みんなをひと時の別世界へ招いてくれました。これから来年に向けての準備にも力が入りそうです。初めて見たホタルに感動の子ども達でした。



毎日たくさんの子ども達やご家族
の方が見学に来ました。

こんな近くにいる
よ！すごい！
初めて見たよ！



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト6.



ホタルみつけたよ！

NO 6

保育園の『ほたるがわ』にはホタルが飛ばなくなっていました。驚いたことに裏庭で遊んでいた年長さんがホタルを発見しました。

6月20日(金)



「ホタルのさなぎだよ！草の下を掘ったらでてきたよ！」

図鑑で調べてみました。
「やっぱりそうだよ！」

ホタル発見！

裏庭の木の葉の裏で見つけたよ！



「大きいし、おしりのかたちから、きっとメスだよ！」と息を弾ませて見せに来てくれた年長さん、さすがです！



6月26日(木)



「ほたるさん、長生きしてね！」

さなぎは育ちませんでしたが、ホタルのことをたくさん知ってホタル博士になった子ども達です。まだまだびっくりするような出来事が起こりそうで楽しみです。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト7.

ホタルの幼虫がきたよ！

NO 7

7月8日にほたるの会の方から今年卵からかえったばかりのホタルの幼虫をいただきました。この日のために準備しておいたカワニナの入った水槽にさっそく入れました。無事大きくなってくれるといいのですが……これからの成長が楽しみです。



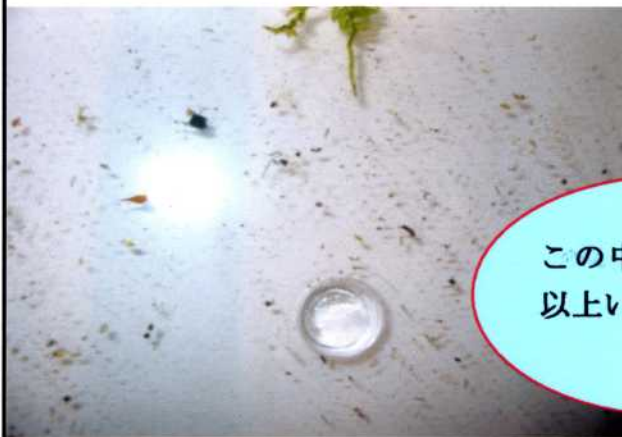
わ～小さい！



あそこにいるよ！

どこどこ？

ホタルの幼虫は、1ミリほどのいとみみずのようなものなので、見つけるのが大変！じ～と見ているとピクッと動きます。ほんとうに小さくて見つけられるのかな～？子ども達は真剣に水槽を見つめて観察しています。



この中に100匹以上います！



わかるかな？



みんな上に登ってきたよ！

今まで砂の中にいたカワニナが急に水槽の上の方に登ってきました。「ホタルの幼虫が来たからこわいのかな？」「うん。食べられたくないんじゃない？」「カワニナさん、ちょっとかわいそうだね。」「でもホタルは食べないと大きくなれないよ。」複雑な思いの子ども達です。

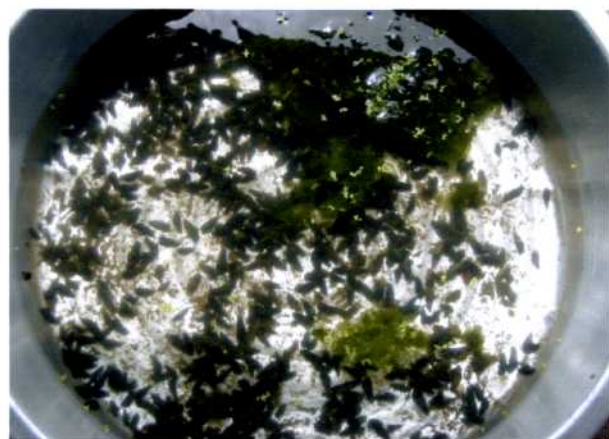


活動の内容や調べたこと、写真やイラスト 8.

カワニナを育てよう！

NO 8

ホタルの幼虫を飼い始めて二ヶ月になります。カワニナを食べているため殻のカワニナが多くなってきました。そのため、8月27日にカワニナを育てていかなければと年中さくら組で取ってきて育てることになりました。



カワニナの他にさわがに、ざりがに、どじょう、みずむしなどたくさんの生き物を見つけたすばらしい小川をいつまでも大切にしたいね。保育園でカワニナを大切に育てるぞ。

さあ頑張るぞ！オー！

こんなにとったよ！すごい！



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト9.

ホタルの幼虫大きくなったよ！ NO 9

カワニナをエサにしているホタルの幼虫ですが、カワニナはレタスやキャベツ、ソーメンが大好きです。そのため、水が汚れてしまうので水槽をきれいにすることにしました。おそるおそる水をかき出し、空になったカワニナを取り出し、掃除をしました。すると次々にホタルの幼虫が見つかり、「わぁー大きくなってたね。あんなに小さかったのに。」と子ども達はびっくりです。



カワニナは、レタスも
こんなに食べちゃう！



あ、いたいた！
石とまちがえそうだ
けど、やわらかい～

きれいになった水槽の中でホタルの
幼虫が白い皮を脱いでいるのを発見。
「見て見て！これって脱皮かな？」
「すごーい。初めて見たよ。」
ホタルの脱皮に大興奮の子ども達です。



白っぽい幼虫が
脱皮をしました。
ふわふわしてい
るのが皮だよ。
すごい！

発見！

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト10.

ほたる川にホタルの幼虫発見！

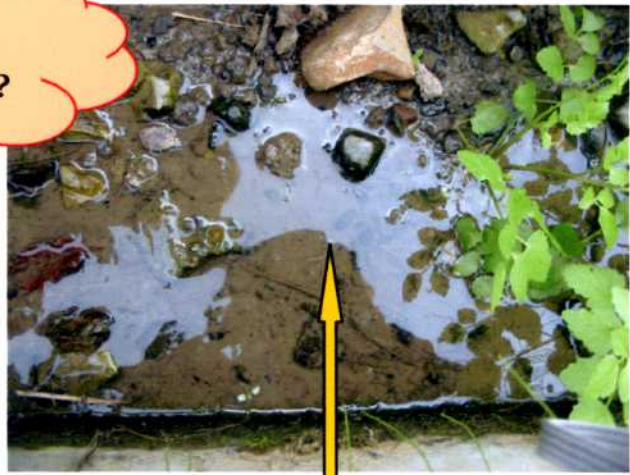
NO10

夏には数匹のホタルが飛び交い、みんなを楽しませてくれほたるがわです。秋を迎えひっそりとしていて、忘れられそう？でしたが、川の中の石をどかしてみてもびっくり！いましたいました、ホタルの幼虫が自然の中で育っていました。あのホタルが卵を産んでふ化したのです。

子ども達も保護者の方もホタルの会の方も先生も皆で大感激。大喜びしました。



いないよね～
でももしかして？



いるいる！
あっちの石の下、
こっちの石の下
いっぱいいる！

石の下に、こんなに大きく
成長したホタルの幼虫が
たくさんいてびっくり！

感激！



寒い冬を元気に
頑張って大きく
なってね。



寒さにまけないでね！



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト 11.



ホタルンジャーだ！

NO11

4月に、ほたるの会の方からホタルの幼虫をいただき、保育園の『ほたるがわ』に放流して子ども達と一緒に見守り育ててきて、この夏には無事にホタルが飛んで感激でした。その後ホタルが自然産卵をして、『ほたるがわ』でコロコロとホタルの幼虫が育っているのを発見してビックリ！

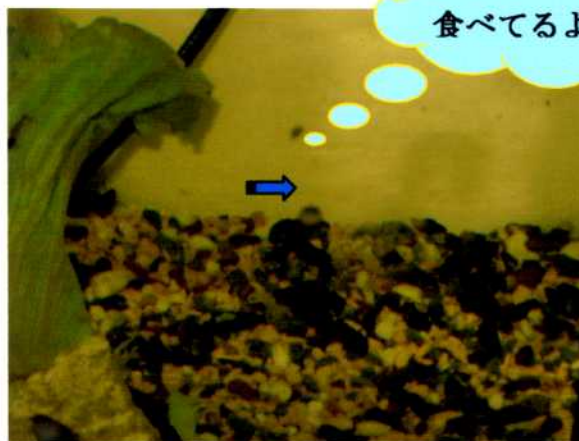
またまた感動でした。そんな活動を「ホタルンジャー」に応募したところ登録されて11月27日にホタルンジャーの旗が届きました。「やったー！すごいブルーの旗だよ。かっこいいね。」と旗を大喜びで眺め、ますますホタルに関心を寄せる子どもです。

すごいね！ホタルンジャー



ぼくたちホタルンジャーになったから
ホタルを
もっともっと
大切にしていこうよ。

ホタルの幼虫
がカワニナを
食べてるよ！



毎日水槽をのぞいてはホタルやカワニナを観察して「たいへん。ホタルがカワニナを食べてるよ。」と教えている子ども達です。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト12.

ホタルの看板作ったよ！

No 12

『ホタルンジャー』になり、ホタルも身近に感じられ、ホタルをイメージして描けるようになりました。ほたる川の看板を自分達で描いてみました。



すてきな看板できたよ！



いたよ。
ホタルさん、まる
まるしてる！



どこにいるか
な？
げんきかな？



12月雪も雨も降らず「ほたるがわ」の水が少なくなり、「どうしよう？」「水がないと死んじゃうよ。」
「水道の水を流してあげればいいよ。」という訳で
川の水が少なくなると水道から少しずつ水をほたるがわ
に流しては様子をみていくことにしました。

どうなったか心配でほたるがわをのそくと元気にホタル
が育っていました。「ホタルが生きていくのたいへんだ
ね。」自然の厳しさを実感した子ども達でした。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト 13.

ホタルさんお家で元気でいてね。

No 13

寒くなってホタルさんのお家はどんなかな？泥の中かな？川の石の下かな？子ども達は、ホタルのお家をイメージして描きました。どんなお家かな？



みんなでなかよくお家の中にいるよ



石の下にいるよ。



土の中にいるよ。



どろの中であたたかいよ。



ひっそりとしているほたるがわ、春が待ち遠しいホタルと子ども達です。



活動で工夫したこと、困ったこと

○ 工夫したこと

- ・ほたるがわはとても小さい川なのでホタルの幼虫をエサにするような生き物が入ってこないように下流に網戸の網を張った。しかしザリガニは何回も入ってしまい、その度にほたるがわ以外の川へ逃がした。
- ・カワニナを増やす為にカワニナの水槽の温度を20度以下にならないように水槽専用のヒーターで温度調節をしたことやソーメンやレタスなど給食で出たものでカワニナのえさとして活用し、カワニナの繁殖に成功した。
- ・ほたるがわのまわりの草取りをホタルの幼虫の上陸するときとホタルが飛び交う繁殖期に控える。出来るだけ川のまわりを荒らさないようにした。遊びたいのをホタルの為に我慢した。
- ・夜8時からのホタルの見学は保育園児なのでどんなに近くのお家でも保護者同伴でお願いし、事故や怪我などなく見学会を楽しむことができた。
- ・ホタル情報をホームページや園の掲示板で随時知らせる保護者や地域の人の関心を高めた。
- ・ほたるがわの水が少なくなるとホースで水道の水を少しずつ流した。

○ 困ったこと

- ・ホタルを飼うことが初めてだったので子どもたちと共に職員も戸惑うことが多く、勉強しながらであった。
- ・ほたるがわの草取りが時期によってできない為、草を取ってほしいと言われてたり、ご好意で草取りをして頂くこともあり、保育園のまわりの畑の方に理解を求めるのが大変だった。
- ・ほたるがわが保育園の湧き水と上流の小さい川の水との合流で出来ている為、秋から冬にかけて水が少なくなり、とくにH20年の秋は雨量が少なくて川に水が少なくなってしまった。

これからやりたいこと

- ・H20年度は地元のホタルの会の方が飼育したホタルの幼虫を頂いて保育園のほたるがわでホタルに会えたが、H21年の夏は自分達で育てたホタルの幼虫やほたるがわで育てているホタルの幼虫が成虫になり、たくさん飛ぶようにしたい。
- ・お家の人だけでなく地域の人にも見に来て頂いて一緒にホタルの光を見たい。そしてホタルを大切に育てることがまわりの環境も良くなることを伝えたい。
- ・ホタルレンジャーの活動をこれからあなず保育園に入園してくるお友達やお家の人、先生も続けていけるようにホタルの育て方をみんなでまとめたい。
- ・お父さんお母さんが子どもの頃のように杏の里がホタルの里になるように地域の人にも協力を呼びかけたい。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。



気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと
環境大臣やみんなに伝えたいこと

※すべて子どもの思いや気づき、考えをそのまま記入しました。

○ 気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと。

- ・ ホタルの幼虫は卵からかえったばかりは目に見えないほど小さい。
- ・ ホタルの幼虫が大きくなるとやわらかいだんご虫のような形をしていて触るとまるまる。
- ・ ホタルのメスとオスは光り方が違う。
- ・ オスは元気に飛び回るけど、メスはじっとしている。きっと卵を産むからだよ。
- ・ ホタルに会えてよかった。
- ・ みんなでホタルを幸せにしたい。
- ・ ホタルと一緒に生きていたい。
- ・ ホタルに名前をつけたい。
- ・ ホタルと一日中いたい。
- ・ ホタルって光ってきれいだった。
- ・ ホタルはずっと水槽の中じゃだめ。きれいな川に逃がしたい。
- ・ ホタルを見れてよかった。お家でもかってみたい。きれいなところに住ませたい。
- ・ ホタルの川とかいろんなところをきれいにしたり、お家作れるように面倒みてあげたい。
- ・ ホタルと一緒にくらしたい。ホタルと一緒に飛ぶたい。
- ・ ホタルは小さいけどちゃんと生きていて、大きくなって卵を産んでまた大きくなって行って、命がずっと続いていてすごい。
- ・ ホタルはきれいな川じゃないと死んじゃうから川をきれいにしなくちゃいけない。
- ・ ホタルがいっぱい飛ぶときれいだから皆で見たい。

○ 環境大臣やみんなに伝えたいこと

- ・ ホタルがどこの川でも住んでいけるようにしたい。
- ・ ぼく達が大きくなってもホタルがいっぱい飛べるような川に皆で力を合わせてしなくちゃいけない。
- ・ 大人の人にゴミを捨てるなど言いたい。そして一緒に協力して川をきれいにしたい。
- ・ 観光客にも見せてあげたいので杳だけじゃなくてホタルも見に来てほしい。
- ・ ゴミをゴミ箱に捨てれば川はきたなくならないと思う。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

